

【町長説明】

1. あいさつ

平成29年から児童館建設に多大なるご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。皆様方には大変申し訳ないご報告ですが、設計等の問題点について見直しする時間を頂きたいと思っております。作らないということではなく、問題点をきちんと整理し、見直した後にこの計画を進めたいと考えます。

2. (仮称) 多機能児童館建設の着工見送りについて

ア (仮称) 多機能児童館建設事業費について

平成29年度～令和元年度の「実績」と令和2年度～令和3年度の「計画」に区分し、建設に係る費用及びその財源について説明します。

建設に係る費用（イニシャルコスト）について、平成29年度から令和元年度の実績はワークショップ委託料、設計、準備工事等で約7,716万円でした。

令和2年度から令和3年度で計画している、ワークショップ委託料、建設工事、周辺整備、備品購入等は、合計で約7億2,903万円です。

これらの予算財源について、国庫支出金、起債、基金及び一般財源の合計で約8億619万円を予定しています。

イ 現在の設計概要について

現在設計では、鉄骨造2階建1,926.95㎡の建物を予定しています。

- ・児童館（子育て支援センター含む）部分
1階 752.67㎡
2階 551.21㎡
- ・保健センター部分 1階 623.07㎡
- ・その他 駐車場 45台（敷地外含む）

ウ 現在の問題点について

この施設の建設にあたり、現時点で解決しておくべき事項、見直しをすべきと考える4点を説明します。

1) 駐車場の不足について

→ 現計画の駐車場台数よりも、施設の来所想定者数が上回るため、対応策を講じる必要があると考えています。

2) 事業費用について（建築費等の削減）

→ 建設後は施設の運営や維持費にお金がかかります。特に大きいのは人件費で、業務委託をするとおおよそ3千万円ほどの見積もりになります。直営にしても、その分は費用がかかってきます。

それから、財源のうち建設に係る起債（借り入れ）は約4億8,650万円ですが、これを15年（1年据え置き）で返済する場合、単純計算で毎年3,475万円の返済になります。

ここに利息は含まれませんが、先ほどの運営費を合わせますと償還が終わるまでは、毎年少なくとも約6,400万円が必要になる計算です。他にも建物の光熱水費や設備保守点検代が必要になります。

また、町財政の負担として、新しいごみ焼却場を建設しなければなりません。公共施設の老朽化も進んでおり、保育園や学校等、順次大規模改修の必要な時期が迫っています。児童館以外にも、たくさんの事業があり、少しでもそちらへお金が回せるように考える必要があります。少しでも建設費を引き下げることが、私ども行政の役割だと考えています。

建設費の削減に向け、児童館運営に支障をきたさないようなデザインや仕上げ材の見直しを考えます。

3) 来館者の安全確保について

→ 来館者同士による事故を防止するため、来館の目的や年代にあわせた利用エリアの明確化など、より安全な施設づくりを考えます。

4) 新型コロナウイルス対策について

→ 新型コロナウイルスなど感染症対策のため、換気窓や部屋の仕切り等設備を見直し、また運営指針策定において密になりにくい工夫を講じます。

3. その他

児童館建設は、大変大きな予算を投入する事業ですので、使いづらいつか

使えない施設にすることは許されません。先を見通した計画にしていくことが肝要だと考えています。新型コロナウイルス対策についても、大きな関心を持って対処する所存です。

計画の見直しを行い、しっかりと問題点を整理した上で着工することが町政を預かる者としての責任と考えています。一度お時間をいただき、問題点について解決の見通しが立った後、建設したいと考えていますので、なにとぞご理解を賜りますようお願いいたします。